

## 研究所日記

## 諏訪湖の採水

平成17年10月12日(水) 天気 晴

環境省が中心となって行っている全国調査「化学物質エコ調査(化学物質環境実態調査)」の長野県での対象は、諏訪湖です。この調査に必要なサンプルを採るために、研究所のスタッフ4名は、朝から諏訪湖に出かけました。幸いこの日は好天に恵まれ、波も穏やかでした。ボートに資材を積みこみ、風を切って湖心の採取地点に到着。分析用サンプルを採取し、位置(東経、北緯)の確認、水温やpH、透明度等を測定しました。

この調査は、環境中に数多く存在する化学物質のうち、有害性が高いにもかかわらず、環境への残留状況が明らかでない物質の実態把握が目的です。また、放射能測定用等のサンプリングも加わったために、多量の湖水や湖底の泥が必要でした。

水と泥を採るだけとはいえ、採取用の容器をそれぞれの調査項目に合わせて洗浄したり、妨害物質を焼き出したり、調査用器具の忘れ物がないように何度も点検するなど、事前の用意も大変でした。

(渡辺哲子 watanabe-tetsuko@pref.nagano.jp)



当日は穏やかな気持ちのよい天気となりました



湖水を採る。約200リットル必要。

当日の奮闘ぶりを  
写真で紹介します。



採泥器で泥を採る。何度も行う。

## 酸性雨を 調べています

トピックスの「自由大気圏における酸性雨の観測」でご説明しました国設八方尾根酸性雨測定所の風景をご紹介します。



測定所の立地環境



冬にも作業しています。けっこう寒い。

(柳澤英俊 yanagisawa-hidetoshi@pref.nagano.jp)

## 自然ふれあい講座 報告

### 身近な自然・再発見 ～信州の植物の多様性(1)～

9月25日(日)10:50～16:00 参加者11名

(担当:大塚孝一・川上美保子)

長野県には約3200種類もの植物が知られていて、全国でも有数の種多様性を誇っています。

今回は、信州の中部に位置する塩尻地区の植物に接し、その多様性を知り生態系の重要性について考えてみました。

道沿いには、ノコンギクやシロヨメナなどの秋の花やセイヨウタンポポ、オオニシキソウなどの外来植物、ミヤマイラクサ、ハイイヌガヤなどの主に日本海側に分布するもの、塩尻市天然記念物のマルバノキなどが観察されました。また、林道奥のヒノキ林にはナンゴクナライシダやウスヒメワラビなどの暖温帯性のシダも見られました。参加者からは、「植物を見ながらゆっくり歩くのもいいものだ」と感想をいただきました。



この植物は？

### 身近な自然・再発見 ～近所のため池周辺の植物と鳥～

10月2日(日)9:00～12:30 参加者27名

(担当:川上美保子 他)

全国的にも有数な少雨地の上田市塩田平には、多くのため池が点在しています。その池には鳥が来たり、池周辺の斜面は草刈などを行っているため草地を適地とする植物などが豊富です。この講座で、普段の生活の中で見過ごしている場所の自然や歴史を知って欲しいと計画しました。当日、地元「染屋の森の会」の会員がため池の歴史や植生調査の結果を解説し、そのあと池の植物や鳥を観察しました。プロミナを使用してチュウサギの夏に黒かったくちばしが秋には黄色になっている様子に、参加者は感動されたようでした。約15キロの道を歩き、別所の安楽寺にて温暖化指標植物シラカシの分布拡大の様子を観察し、そのことに伴う鳥の役割を解説しました。講座開催にあたっては、池の地権者と安楽寺そして駐車場を借用した塩田西小学校にはお世話になりました。



鳥の解説

### 里山歩き - 信州の里山再発見・秋編 ～虫倉山麓から～

10月16日(日)9:00～14:30 参加者21名

(担当:畑中健一郎 他)

5年目を迎えた「里山歩き」シリーズもついに最終回。今回のコースは、これまで歩いた17ヶ所のうちでもっとも「里山」らしい場所である中条村の虫倉山麓を歩きました。紅葉のはじまった虫倉山頂や北アルプスは残念ながら雲に隠れていましたが、「日本の棚田百選」に選定された地区を2ヶ所も眺めることができるなど、里山らしい美しい景観とその成り立ちや課題に思いを巡らすことができました。また、野生のアケビを味わったり、珍しい食用キノコを発見したりと、里山の魅力を「再発見」することもできました。

講座の開催にあたっては、中条村役場にはマイクロバスでの送迎をはじめ多大なご協力をいただきました。ありがとうございました。



虫倉山麓の棚田をのぼる

# 出前講座

## テーマと講師のご案内

研究所では、ご希望の多いテーマを50程設定して講師の派遣を無料で行っています。おおよそ20名程度の参加者が集まれば出かけます。講座のテーマについて、講師を務める職員から紹介いたします。ピンときたらすぐ出前をお申し込みください。なお、その他のテーマについてはホームページをご覧ください。一覧に掲載されていないテーマでもご希望に沿える場合がありますので、お気軽にご相談ください。

### 長野県にすむ哺乳類の生態



長野県では、非常に多様な地形や気候、植生の影響のもとに、他に類をみない豊かな動物相が成立しています。哺乳類も例外ではなく、県内には非常に多くの種類が生息しています。その反面、カモシカ、ニホンジカ、イノシシ、ツキノワグマ、ニホンザルなどの生息分布の拡大により、農林業被害が増加しています。このため、県では林務部を中心に野生動物の保護と被害防除の両立をめざした特定鳥獣保護管理計画が進められています。

講座では、長野県にすむ哺乳類の概要とカモシカやツキノワグマをはじめとした代表的な哺乳類の生態を紹介するとともに、農林業被害の防除対策や特定鳥獣保護管理計画について、わかりやすくお話しします。

(岸元良輔 kishino to-ryosuke@pref.nagano.jp)

### 廃棄物の試験法について

事業所等から排出された産業廃棄物は、焼却や破砕等の中間処理を経た後、資源として有効利用されるか、最終処分場に埋め立てられます。

産業廃棄物の有害性を判定する方法の一例として、産業廃棄物を水などの溶媒と一定比率で混合・振とうし、溶媒に溶出した金属等の量を測定する溶出試験があります。この方法は、最終処分場に埋め立てられた廃棄物中の有害物質は、主に最終処分場内に浸透する降水等により地下水や河川等の周辺環境に影響を与えるとの考え方によるものです。

この講座では、こうした廃棄物に関する試験方法についてご説明します。

(柳澤英俊 yanagisawa hidetoshi@pref.nagano.jp)



### 食の安全について



近年、私たちは世界各地の食材を容易に手にすることが出来、大変豊かな食生活を送ることが出来るようになりました。しかし、その反面、食の安全に対し漠然とした不安を感じておられる方も多いのではないのでしょうか。食の安全確保のために様々な基準が定められ対策がとられてきております。研究所では、「残留農薬」、「残留動物用医薬品」、「カビ毒」や食中毒の原因となる「細菌やウイルス」等食の安全確保のために検査を実施してきております。この講座ではこれらの検査の状況や、食品中に残留する農薬等の規制の動き等わかりやすくお話しさせていただきます。食の安全について理解を深めていただき、安心で豊かな食生活をお送りいただければと考えております。

(和田啓子 wada-keko@pref.nagano.jp)

### “におい”のお話

森の香り、花や果実の香りなどの心地よい香りを嗅ぐことにより気持ちを落ち着かせ、リラックスできるようになります(この治療・健康法をアロマセラピーまたはアロマセラピーといいます)。最近、この癒しの方法が日常生活において注目されていますが、人類は古くから香りを巧みに利用してきました。一方、悪臭物質は不快ではありますが、食物の腐敗や硫化水素などの毒物から身を守るために必要な情報です。におい物質は10万種以上あるといわれていますが、においの特性、香りによる人への癒し効果、においの測定法や悪臭物質の消臭法について、実際にいろいろなおい(よい香りも悪臭も)を体験してもらいながら、お話をします。

(薩摩林 光 satsumabayashi karu@pref.nagano.jp)



芳しいシナノキの花

お問合せ・お申込み / 研究所に直接、電話、ファックス、ハガキ、電子メールでお申し込みください

## “チャレンジサイエンスパーク2005”に出展しました。

子どもたちが科学実験を楽しく体験しながら、知ることの喜びを味わい、創造力を育むことを目指しておこなわれた、子どもたちのための科学の祭典＝チャレンジサイエンスパーク2005(主催;わくわくサイエンス推進事業実行委員会)が今年も開催され、研究所は初めてブースを出展しました。本イベントは今年で6年目で、多数の小学生が親御さんと共に参加しました。当日は雨にもかかわらず、開場してから閉場するまで来場者で賑わい、研究所のブースも約150名の方々が訪れ、実験を体験していただきました。



オープニングセレモニーでブースをアピール

会場では他に、「こどもエコクラブ県内交流会」や、長野県学生科学賞入選作品発表会等も開催され、県内の今の子どもたちが、科学にどのように触れているか、また、教育現場で何が求められているかなどの様子がよくわかる企画となっていました。

と き : 2005年9月11日(日) 9:00~16:00

と ころ : 松本市あがたの森文化会館(松本市県 3-1-1)

### //// 当日の風景 //// たくさんのご来場ありがとうございました! ////



開場直後から大勢の方がおとずれました。



酸性のパワー体験



にょい体験

### お知らせ

NHKのラジオとテレビに研究員が出演しています!お聞き(ご覧)ください!

#### ラジオ

『もぎたて信州朝いちばん』の「自然ガイド」  
(ラジオ第一・月~土7:40~8:00)

#### 今後の出演予定

12月22日(哺乳類の生態)	2月2日(鳥の生態)
1月5日(植物の生態)	3月16日(里山の今)
1月12日(エコミュージアム)	

#### テレビ

『みんなのスタジオ プラザN』の「自然ガイド」  
(総合テレビ月~金11:30~12:00)

#### 今後の出演予定

12月13日(哺乳類の生態)
1月24日(鳥の生態)
3月7日(里山の今)

### 編集後記

読者の方からNo.7の掲載記事について大変に貴重なご指摘と情報をお寄せいただきました。今後の参考にさせていただきます。

本誌は、環境保全および保健衛生の問題で、研究所が提供することができるものをできる限りわかりやすく提供することを目的につくられています。本誌に関してお気づきのことがありましたら、なんなりとご指摘をお願いいたします。

(編集担当:研究情報チーム)

### 次号のご案内

次号は2006年1月に発行予定です。本年度は6回の発行予定となっております。「トピックス」「最近の話題」「出前講座」「自然ふれあい講座」「研究所日記」等を掲載予定です。